

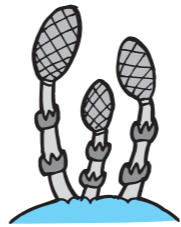
### 交通対策特別委員会

委員長 里田 治

#### ◆市内全域にわたる交通体系を再考したい!

◆ 今般の議会役員改選により、市内の交通体系に関する調査・研究を目的として新たに設置されました「交通対策特別委員会」を担わせていただくことになりました。よろしくご指導とご支援のほどお願いいたします。

さて、本市は合併後2年3ヶ月を経ましたが、県下一広範な面積を有し、少子高齢化の進展も著しく、特に山間部集落においては、過疎化のありで昨今問題視されている「限界集落」という、集落機能が維持できない自體に直面している所もあり。このような現状から、生活・福祉・教育等の行政全般を見ると、交通体系基盤の改善とその充実強化は、



去る3月7日に委員会を開会しました。議会役員改選後初めての委員会であり、これまでの経過と今後の委員会運営を中心に協議を行いました。

これまで市では建設費に50億円程度必要と試算をしています。しかし、財源の根幹である合併特例債は約22億円が借入限度であり、残る約30億円の不足額をこの厳しい財政事情の中でどう手立てするかとして、老朽化の進む県事務所等との併設による建設・維持コスト削減策や防衛省補助事業の採択、またそれに伴う合併特例債充当枠の拡大を図るべく、鋭意関係機関と調整を進めています。

委員会では、この庁舎問題は合併協定の大きな柱であるが、市の対応は、市職員で構成する庁舎建設等検討委員会も機能していない状況やこれまで市民への情報提供面においてもおろそかであると指摘。防災面からも早期に一定の方向性を示す必要があります。

#### ◆新しく「行財政改革特別委員会」を設置しました。



3月26日に、基地周辺の障害防止と民生安定に関する事項についてを議題に、委員会を開会しました。市担当課より、今年度中に砲撃音調査が実施される報告を受けましたが、砲撃音のみならず、航空機等の飛行により周辺住民は騒音障害に悩まされていることから、対象調査の範囲拡大と、演習の種類により騒音障害を受ける区域や規模が異なることを踏まえ、調査を行なうように要望しました。また調査終了後は結果を反映させた早急な対応を求めました。市内で生活をしてきた第5大隊の移駐に伴い、地域経済に与えた影響も大きく、隊員の誘致を行なう意見もありましたが、安易な誘致は、演習を益々激化し、それによ

る騒音や振動障害も増加することから、誘致への反対意見もありました。毎年、市は防衛庁へ要望活動を行なっていますが、要望書を手渡しするだけでなく、しっかりと現状を訴え、内容に関しては、市民の意見を聞き取り要望書を作成するよう求め閉会しました。

防衛施設があることによって生じる様々な課題や各種問題による障害は多大であることを踏まえ、住民の安全安心な生活安定のため、今後もこれまで以上の協調、協力体制をより強固なものとして取り組んでまいりますので、ご指導を賜りますようお願いいたします。

### 新庁舎建設対策特別委員会

委員長 水田 善昭

きな柱であるが、市の

建設による維持管理経費削減等の費用対効果をはじめ、支所機能、支所耐震化の問題など庁舎建設の是非も含め、総合的に議会が判断できるよう、市の基本的な考え方（基本計画）を早く示すよう執行部に強く要請し、今後これらを中心に議論を深めて行くことを確認し閉会しました。

### 響庭野基地対策特別委員会

委員長 大森 六己

響庭野基地対策特別委員会

響庭野基地対策特別委員会

響庭野基地対策特別委員会

### 高島病院対策特別委員会

委員長 柴原 忍

公立高島総合病院にかかる「経営と施設のありかた」について、引き続き3月7日に14名の委員全員出席のもと開催しました。

調査・研究にあたり、執行部より山内助役、青野病院長、健康福祉部長をはじめ病院関係者、経営改善・診断業務を委託する株式会社メディカルクリエイトの担当者出席を求め、経営改善推進本部等のとりの経過・状況を確認するとともに平成18年度1月までの経営実績による医療収益・費用の実態など具体的な資料に基づき、説明を受けました。

改善に対する意識改革を実行するため、病院現場において経営改善推進本部、各医局説明会、医療技術部や看護

- ① 病床数、看護基準を調整する。
- ② 急性期患者の治療密度を上げる。
- ③ 初診外来を新設し、待ち時間を短縮する。
- ④ 救急医療は、継続する。
- ⑤ 専門外来を充実する。(常勤診療科の専門性の充実、非常勤医師診察日の集中化)
- ⑥ 地域医療機関との連携を強化する。(紹介患者を10%以



市民生活において「医療」を支える最も重要な機関である「公立高島総合病院」は、安定した経営と充実した医療サービスが大原則で、老朽化する施設を建て替えることで解決するものではありません。

3月7日に第1回目の委員会を開催し、「高島市経営改革プラン」、「高島市集中改革プラン」および「高島市財政再建計画」について検証し、開会中閉会中を問わず調査・研究を行うことになりました。

- ① 事務事業の見直し
- ② 行政評価システム
- ③ イベントの統合
- ④ 公用車の一元管理
- ⑤ 節約オフィス活動
- ⑥ 市補助金の見直し
- ⑦ 使用料、手数料の見直し

※パブリックコメント……行政機関が政策を進める過程で素案を公表し、広く国民の意見を聴いて行政の意思決定を行う制度